



道新でワークシート

年 組 名前

卓上四季

2025. 7. 15

日本の敗戦まで残り1カ月に迫っていた。1945年7月14、15日に北海道を戦火が襲った。北海道空襲である。米軍の艦載機による攻撃と艦砲射撃。非戦闘員である民間人を含め、2900人を超える人々の命が奪われた▼襟裳岬沖の太平洋に展開した米艦隊からグラマン機などが飛び立った。函館、室蘭、釧路、根室といった沿岸部に加え、本別や富良野など内陸部も被害を受ける。飛行場や船舶、軍需工場の破壊が目的というが、実際は無差別攻撃に等しかった。病院や学校、民家まで狙われた▼被害の全体像は長く不明確だった。明らかにしたのは地道な調査を積み重ねた民間研究者たちである。今年1月に亡くなった菊地慶一さんの存在が大きい。取材の成果をまとめた労作「語りつぐ北海道空襲」は実態を知るために欠かせない▼根室の防空壕は、腸がはみ出て死んでいる人がごろごろしていた▼。艦砲射撃を受けた室蘭は、へいたるところにちぎれた死体や肉片、内臓がたたきつけられ、電線に引っかかり散乱していた▼。数多くの証言が戦争のむごたらしさを伝える▼菊地さんは記している。死者それぞれに物語がある。それを一つずつすくい取らなければ、庶民の戦争史は完結しない▼空襲から80年。記憶を受け継ぎ、新たな事実の発掘に取り組む。その大切さをかみしめる。

2025年 7月15日(火) 朝刊 全道版 1ページ

(1) 記事を参考にAさんの I に当てはまる言葉を話し言葉で書きなさい。

Aさん 今年は戦後80年ということが、テレビ番組で取り上げられていたよ。

Bさん そうなんだ。でも、北海道はそんなに戦争の被害はなかったんじゃないかな。

Aさん I

Bさん そうだったんだ……。それは知らなかったな……。

Aさん 自分もまだまだ知らないことはいっぱいあるよ。

Bさん もっと戦争のことを知っている人を増やすにはどうしたら良いかな。

Aさん そうだねえ。例えば、小学生に知ってもらうには……

(2) 小学生に戦争のことを知ってもらうためには、どのような方法が考えられるか。

また、その方法で戦争のことを伝える際にはどのような工夫が必要か。それぞれ書きなさい。

(方法)

(工夫)